

令和3年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程			
学年	1年A組			
科目名	人文科学概論(コミュニケーションを含む)			
単位数	2単位			
授業方法と時間数	講義 30時間			
担当教官名	小野澤 昇			
授業の内容 (授業科目の概要)	コミュニケーションの方法や留意点を学びます。また、日常の中で耳にすることの多い随想、俳句、短歌、古文、漢文を学びます。			
到達目標	日常の言語活動(聞く・話す)を通して、コミュニケーション能力の向上を図ること。また、文学作品を読み味わい、鑑賞や創作ができること。			
授業計画	1.オリエンテーション	人文科学概論で学習すること	1	
	2.コミュニケーション	(1)挨拶について	1	
		(2)自己紹介をする	2	
		(3)他己紹介をする	1	
		(4)敬語法	1	
		(5)言語活動の実践	1	
	3.言葉と季節	(1)エッセイを読む	1	
		(2)俳句	1	
		(3)季語	1	
		(4)言語感覚	1	
		(5)創作(俳句を作る)	1	
	4.前期学習のまとめ	復習する	1	
		前期計	13	
	5.古典に触れる	(1)徒然草・枕草子・竹取物語・平家物語	4	
		(2)月の異名・方位・時刻	1	
		6.医療の古典	養生訓	3
		7.漢文	論語を読む	3
		8.新俳句・川柳	鑑賞と創作	3
		9.鑑賞	小説・詩	2
10.後期学習のまとめ		復習する	1	
		後期計	17	
		年度末計	30	
実務経験の有無 その活かし方	無			
成績評価の方法	筆記試験(前期・後期)、授業で課した課題・創作への取り組みを総合して評価します。			
履修上の留意点	年間に1回以上、俳句・短歌などの創作作品の提出を求めます。			
予習・復習の 進め方	毎回の授業後に、振り返り学習をしてください。 短歌などの創作には、意欲的に取り組んでください。			
使用教科書	授業内容に応じ、プリントを作成・配付します。(墨字・テキストデータ・点字)			
参考書/参考資料	必要に応じて配付します。			

令和3年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程		
学年	1年A組		
科目名	自然科学概論		
単位数	2単位		
授業方法と時間数	講義 33時間		
担当教官名	桑崎哲治		
授業の内容 (授業科目の概要)	1. 細胞に関する歴史と基本的概念を学びます。 2. 原子の構造と化学結合の基本的概念を学びます。		
到達目標	理療教科における学習に必要な自然科学の基礎的な概念、原理、法則等を理解して説明又は記述できること。		
授業計画	オリエンテーション	1	
	1 細胞の発見と顕微鏡		
	1. 顕微鏡の発明	2	
	2. 細胞の発見	2	
	3. 細胞についての研究	2	
	4. 細胞説	1	
	5. 顕微鏡 光学顕微鏡と電子顕微鏡	2	
	6. 顕微鏡の中の長さの単位	2	
	7. 細胞と顕微鏡	1	
	前期のまとめ	1	
	前期末試験講評	1	
		前期計	15
		8. 細胞の分画と蛋白質の分離	2
	2 細胞の分類		
	1. 細胞とは	1	
	2. 原核細胞と真核細胞	1	
	3 原子		
	1. 原子の構造 陽子、中性子、電子	2	
	2. 元素記号、原子番号と質量数	2	
	練習問題	1	
	3. イオン		
	価電子、陽イオンと陰イオン	2	
後期のまとめ	1		
後期末試験講評	1		
4 化学結合			
1. イオン結合	2		
2. 共有結合	3		
	後期計	18	
	年度末計	33	
実務経験の有無 その活かし方	無		
成績評価の方法	理療教育実施細則の基づき、前期末、後期末評価(何れも筆記試験)の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)		
履修上の留意点	中間期評価は実施しません。		
予習・復習の 進め方	講義は事前に配布する資料を用いて進めます。必ず資料を読んで、講義内容を把握して講義に臨んでください。 講義後は配付資料を精通して復習し、内容理解に努めてください。 自己学習しても理解できないところがあれば、次の講義までに質問してください。		
使用教科書	ありませんが、教科書となる資料を配付します。		
参考書/参考資料	必要に応じて図などを配布します。		

令和3年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	1年A組(B班)	
科目名	保健体育	
単位数	1単位	
授業方法と時間数	実技 30時間	
担当教官名	藤本茂記	
授業の内容 (授業科目の概要)	運動・スポーツにかかわる基本的な知識と技術について学びます。また体力測定を通して自身の身体状況を客観的に捉えることについて学びます。	
到達目標	1.運動・スポーツを生涯にわたって継続していく重要性を理解して、実践することができる。 2.運動・スポーツ実践の基となる自身の体力の現状を客観的に把握できる。	
授業計画	前期内容	
	1. オリエンテーション	1
	2. 体力測定(筋力、柔軟性、敏捷性、筋持久力)	2
	3. 身体局所の動き(ラジオ体操Ⅰ)	2
	4. ゴールボール	4
	5. フライングディスク(ディスリート5)	2
	6. サウンドテーブルテニス	3
	7. トレーニング(自重、機器)	1
	前期計	15
	後期内容	
	8. 身体局所の動き(ラジオ体操Ⅱ)	2
	9. フロアバレーボール	5
10. ポッチャ(団体)	2	
11. 陸上競技(歩、走)	2	
12. ストレッチ(動的)	1	
13. 体力測定(持久力)	2	
14. グランドゴルフ	1	
後期計	15	
年度末計	30	
実務経験の有無 その活かし方	有	リハビリテーション体育専門職 リハビリテーション病院での運動・スポーツ指導経験を活かして、トレーニングやストレッチを紹介し、1年次履修科目に関連する知識の幅を広げます。
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも実技試験及び口頭試験)の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	中間試験は実施しません。天候により使用する体育施設を変更する場合があります。	
予習・復習の 進め方	1. ラジオ体操第1やラジオ体操第2の放送時刻を把握し、「ラジオ体操第1・第2」の動きを学習してください。 2. 既習の内容については、体育的行事の活用や自己学習を含めて振り返り学習してください。 3. 事前・事後の学習は欠かさないようにしてください。	
使用教科書	なし。(必要に応じて資料等を配布します)	
参考書/参考資料	競技規則集。競技規則の解説。障がい者スポーツ指導の手引き	

令和3年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	1年A組(A班)	
科目名	解剖学 I (運動学を含む)	
単位数	4単位	
授業方法と時間数	講義 120時間	
担当教官名	水元 ひろみ	
授業の内容 (授業科目の概要)	骨系、筋系、神経系の位置・形態・構造とその運動について学びます。	
到達目標	骨系、筋系、神経系の位置・形態・構造を理解して、人体や模型上で確認できること、及びそれらの運動の仕組みについて説明、又は記述できること。	
授業計画	前期内容	
	1. オリエンテーション	1
	2. 人体の区分と方向	2
	3. 運動器系(骨格系)	36
	(1) 総論	
	(2) 脊柱	
	(3) 胸郭	
(4) 上肢の骨格、上肢の関節と運動		
(5) 下肢の骨格、下肢の関節と運動		
(6) 頭蓋骨		
4. 運動器系(筋系)	2	
(1) 総論	19	
(2) 体幹 体幹の筋、運動、局所解剖		
前期計	60	
後期内容		
4. 運動器系(筋系統き)	22	
(2) 体幹 体幹の筋、運動、局所解剖		
(3) 上肢 上肢の筋、運動、局所解剖		
(4) 下肢 下肢の筋、運動、局所解剖		
(5) 頭頸部 頭頸部の体表および局所解剖		
5. 解剖見学実習		
冬期休業中の支援期間中に解剖見学実習を実施する予定です。		
6. 神経系	34	
(1) 神経系の構成		
(2) 中枢神経系		
(3) 伝導路		
(4) 末梢神経系		
7. 基礎運動学	4	
(1) てこと滑車		
(2) 人体の重心と姿勢		
後期計	60	
年度末計	120	
実務経験の有無 その活かし方	有	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 鍼灸マッサージ治療院での施術経験を活かして、現実の施術機会に用いられる骨系、筋系、神経系のポイントを紹介して、実技科目に応用できる知識を養います。
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも筆記試験)の平均点を学年末評価とします(小数点第1位は切り捨て)。	
履修上の留意点	6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
予習・復習の 進め方	解剖学は2年、3年で履修する科目の基礎となる科目です。また、あん摩や鍼の実技でも解剖学の知識は重要となります。 授業が終わったら必ずその内容を復習してください。教科書をよく読み込み十分に理解しておくことが大切です。また、わからないことがあればそのままにせず質問するようにして下さい。	
使用教科書	解剖学<第2版>テキスト版、図譜版 【河野邦雄他著/医歯薬出版】	
参考書/参考資料	基礎運動学の内容については資料を作成し配布します。	

令和3年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	1年A組(B班)	
科目名	解剖学 I (運動学を含む)	
単位数	4単位	
授業方法と時間数	講義 120時間	
担当教官名	水元 ひろみ	
授業の内容 (授業科目の概要)	骨系、筋系、神経系の位置・形態・構造とその運動について学びます。	
到達目標	骨系、筋系、神経系の位置・形態・構造を理解して、人体や模型上で確認できること、及びそれらの運動の仕組みについて説明、又は記述できること。	
授業計画	前期内容	
	1. オリエンテーション	1
	2. 人体の区分と方向	2
	3. 運動器系(骨格系)	36
	(1) 総論	
	(2) 脊柱	
	(3) 胸郭	
	(4) 上肢の骨格、上肢の関節と運動	
(5) 下肢の骨格、下肢の関節と運動		
(6) 頭蓋骨		
4. 運動器系(筋系)		
(1) 総論	2	
(2) 体幹 体幹の筋、運動、局所解剖	19	
前期計	60	
後期内容		
4. 運動器系(筋系統き)		
(2) 体幹 体幹の筋、運動、局所解剖	22	
(3) 上肢 上肢の筋、運動、局所解剖		
(4) 下肢 下肢の筋、運動、局所解剖		
(5) 頭頸部 頭頸部の体表および局所解剖		
5. 解剖見学実習		
冬期休業中の支援期間中に解剖見学実習を実施する予定です。		
6. 神経系		
(1) 神経系の構成	34	
(2) 中枢神経系		
(3) 伝導路		
(4) 末梢神経系		
7. 基礎運動学		
(1) てこと滑車	4	
(2) 人体の重心と姿勢		
後期計	60	
年度末計	120	
実務経験の有無 その活かし方	有	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 鍼灸マッサージ治療院での施術経験を活かして、現実の施術機会に用いられる骨系、筋系、神経系のポイントを紹介して、実技科目に応用できる知識を養います。
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも筆記試験)の平均点を学年末評価とします(小数点第1位は切り捨て)。	
履修上の留意点	6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
予習・復習の 進め方	解剖学は2年、3年で履修する科目の基礎となる科目です。また、あん摩や鍼の実技でも解剖学の知識は重要となります。 授業が終わったら必ずその内容を復習してください。教科書をよく読み込み十分に理解しておくことが大切です。また、わからないことがあればそのままにせず質問するようにして下さい。	
使用教科書	解剖学<第2版>テキスト版、図譜版 【河野邦雄他著/医歯薬出版】	
参考書/参考資料	基礎運動学の内容については資料を作成し配布します。	

令和3年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	1年A組(A班)	
科目名	解剖学Ⅱ	
単位数	3単位	
授業方法と時間数	講義 90時間	
担当教官名	今泉正博	
授業の内容 (授業科目の概要)	総論、循環系、呼吸系、消化系、泌尿系、生殖系、内分泌系、感覚系の位置・構造・機能について学びます。	
到達目標	総論、循環系、呼吸系、消化系、泌尿系、生殖系、内分泌系、感覚系の位置・構造・機能を理解して、人体や模型上で確認できること、及びそれらの構造について説明、又は記述できること。	
授業計画	前期内容	
	1. オリエンテーション	1
	2. 人体の構造 (1)細胞、(2)組織	10
	3. 循環器系 (1)血管系、(2)心臓、(3)動脈系、(4)静脈系、(5)胎児循環、(6)リンパ系	10
	4. 呼吸器系 (1)鼻腔・副鼻腔、(2)咽頭・喉頭、(3)気管と気管支、(4)肺	10
	5. 消化器系 (1)消化器の基本構造、(2)口腔、(3)咽頭、(4)食道、(5)胃、(6)小腸、 (7)大腸、(8)肝臓、(9)胆嚢、(10)膵臓	11
	前期計	42
	後期内容	
	6. 泌尿器系 (1)腎臓、(2)尿路	15
	7. 生殖器系 (1)男性生殖器、(2)女性生殖器、(3)受精と発生	12
	8. 内分泌系 (1)下垂体、(2)松果体、(3)甲状腺、(4)上皮小体、(5)副腎、 (6)膵臓、(7)性腺	13
	9. 感覚器系 (1)視覚器、(2)平衡・聴覚器、(3)味覚器、(4)嗅覚器、(5)皮膚	15
後期計	55	
年度末計	97	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも筆記試験)の平均点を学年末評価とします(小数点第1位は切り捨て)。	
履修上の留意点	6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
予習・復習の 進め方	解剖学は2年、3年で履修する科目の基礎となる科目です。また、あん摩や鍼の実技でも解剖学の知識は重要となります。試験前の学習だけで点数がとれたとしてもそれは自分自身の知識とはならず、忘れてしまい、そのことは他の学習や実技にも大きく影響します。 授業が終わったら必ずその内容を復習してください。教科書をよく読み込み十分に理解しておくことが大切です。また、わからないことがあればそのまま放置せず質問するようにして下さい。	
使用教科書	解剖学<第2版>テキスト版、図譜版 【河野邦雄他著/医歯薬出版】	
参考書/参考資料	まとめの資料を作成し配布します。	

令和3年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	1年A組(B班)	
科目名	解剖学Ⅱ	
単位数	3単位	
授業方法と時間数	講義 90時間	
担当教官名	今泉正博	
授業の内容 (授業科目の概要)	総論、循環系、呼吸系、消化系、泌尿系、生殖系、内分泌系、感覚系の位置・構造・機能について学びます。	
到達目標	総論、循環系、呼吸系、消化系、泌尿系、生殖系、内分泌系、感覚系の位置・構造・機能を理解して、人体や模型上で確認できること、及びそれらの構造について説明、又は記述できること。	
授業計画	前期内容	
	1. オリエンテーション	1
	2. 人体の構造 (1)細胞、(2)組織	10
	3. 循環器系 (1)血管系、(2)心臓、(3)動脈系、(4)静脈系、(5)胎児循環、(6)リンパ系	12
	4. 呼吸器系 (1)鼻腔・副鼻腔、(2)咽頭・喉頭、(3)気管と気管支、(4)肺	10
	5. 消化器系 (1)消化器の基本構造、(2)口腔、(3)咽頭、(4)食道、(5)胃、(6)小腸、 (7)大腸、(8)肝臓、(9)胆嚢、(10)膵臓	12
	前期計	45
	後期内容	
	6. 泌尿器系 (1)腎臓、(2)尿路	12
	7. 生殖器系 (1)男性生殖器、(2)女性生殖器、(3)受精と発生	12
	8. 内分泌系 (1)下垂体、(2)松果体、(3)甲状腺、(4)上皮小体、(5)副腎、 (6)膵臓、(7)性腺	13
9. 感覚器系 (1)視覚器、(2)平衡・聴覚器、(3)味覚器、(4)嗅覚器、(5)皮膚	11	
後期計	48	
年度末計	93	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも筆記試験)の平均点を学年末評価とします(小数点第1位は切り捨て)。	
履修上の留意点	6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
予習・復習の 進め方	解剖学は2年、3年で履修する科目の基礎となる科目です。また、あん摩や鍼の実技でも解剖学の知識は重要となります。試験前の学習でだけで点数がとれたとしてもそれは自分自身の知識とはならず、忘れてしまい、そのことは他の学習や実技にも大きく影響します。 授業が終わったら必ずその内容を復習してください。教科書をよく読み込み十分に理解しておくことが大切です。また、わからないことがあればそのまま放置せず質問するようにして下さい。	
使用教科書	解剖学<第2版>テキスト版、図譜版 【河野邦雄他著/医歯薬出版】	
参考書/参考資料	まとめの資料を作成し配布します。	

令和3年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	1年A組	
科目名	生理学 I	
単位数	2単位	
授業方法と時間数	講義 60時間	
担当教官名	田端 里美	
授業の内容 (授業科目の概要)	安全な施術をするためには人体の構造と生理機能を理解することが重要です。本講義では基本となる正常な人体の生理機能について学習します。	
到達目標	生理学の基礎的な専門用語を理解し、人体を構成する細胞および器官の働きについて簡潔に説明出来る。	
授業計画	オリエンテーション 1.生理学の基礎 2.循環 3.呼吸 ※前期中間試験	1 4 14 10 1
	前期計	30
	4. 消化と吸収 5. 代謝 6. 体温 ※後期中間試験	9 10 10 1
	後期計	30
	年度末計	60
	実務経験の有無 その活かし方	無
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも筆記試験)の平均点を学年末評価とします(小数点第1位は切り捨て)。	
履修上の留意点	6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
予習・復習の 進め方	生理学は2年、3年で履修する科目の基礎となる科目です。また、あん摩や鍼の実技でも生理学の知識は重要となります。試験前の学習でだけで点数がとれたとしてもそれは自分自身の知識とはならず、忘れてしまい、そのことは他の学習や実技にも大きく影響します。 授業が終わったら必ずその内容を復習してください。教科書をよく読み込み十分に理解しておくことが大切です。また、わからないことがあればそのまま放置せず質問するようにして下さい。	
使用教科書	人体の構造と機能 生理学第3版 医歯薬出版	
参考書/参考資料	授業で必要に応じて配布または紹介します。	

令和3年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	1年A組	
科目名	関係法規	
単位数	1単位	
授業方法と時間数	講義 30時間	
担当教官名	青柳達也	
授業の内容 (授業科目の概要)	施術者として必要なあん摩マッサージ指圧師はり師きゅう師の業務に関する法律(以下、あはき法と記す)の各規程、その他医療・公衆衛生・社会福祉に関する法律の概要について、学習します。	
到達目標	1. あはき法に規定される免許行為、業務上の制限や罰則などについて説明・記述できること。 2. 医療、公衆衛生、社会福祉などに関する法律の概要について、説明・記述できること。	
	(前期)	
	1. あはき法における免許	3
	(1)免許の資格要件及び免許に関する事務(免許申請など)	
	(2)免許資格の消失と復活(消除、取り消しなど)	
	2. あはき法における業務	5
	(1)業務の独占と業務範囲	
	(2)施術に関する注意(制限行為、禁止行為)	
	(3)施術所などに関する規制(構造・設備など)	
	(4)施術所の名称の制限・広告の制限及び業務の停止、無免許行為の取り締まりなど。	
	3. 罰則	4
	(1)あはき師に関する罰則及び施術所に関する罰則	
	4. 医療・公衆衛生に関する法律	3
	(1)医師法・医療法の概要	
	前期計	15
	(後期)	
	4. 医療・公衆衛生に関する法律(続き)	6
	(2)保健師助産師看護師法の概要	
	(3)柔道整復師法の概要	
	(4)医薬品、医療機器等法の概要	
	(5)薬剤師法の概要	
	(6)地域保健法・健康増進法の概要	
	5. 社会福祉に関する法律	7
	(1)児童福祉法の概要	
	(2)身体障害者福祉法の概要	
	(3)知的障害者福祉法の概要	
	(4)精神保健福祉法・老人福祉法の概要	
	(5)介護保険法・生活保護法の概要	
(6)障害者総合支援法の概要		
6. その他、国家試験に関連するまとめ	2	
後期計	15	
学年末合計	30	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前中期末・後期期末の平均点を学年末評価(小数点第1位は切り下げ)とし、60点以上で単位修得となる。	
履修上の留意点	1. 前期中間試験・後期中間試験は行わない。 2. 前期中間期・後期中間期に理解度を高めるため、課題を提供する。	
予習・復習の 進め方	1. 必ず事前に教科書(墨字点字デジジー)を精読し、授業後まとめのノート(墨字・データなど)を作成する。 2. わからない点があれば、教官に質問するなど知識の整理につとめる。	
使用教科書	岡村文夫・芦野純夫編「医療と関係法規」(改訂第7班)	
参考書/参考資料	あん摩基礎実習マニュアル	

令和3年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程		
学年	1年A組		
科目名	東洋医学概論 I		
単位数	2単位		
授業方法と時間数	講義 60時間		
担当教官名	天野 光二		
授業の内容 (授業科目の概要)	施術者として必要な東洋医学の基本的概念、東洋医学的な形態感と機能感、病因病機、診断法、診察法並びに治療法の基礎的な事項を学びます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・東洋医学の基本的な特色を述べることができる。 ・気血津液・臓腑の基本概念と生理機能について説明することができる。 ・病因病機(三因と疾病の発生)を説明することができる。 ・診断法(病証論)を説明することができる。 ・診察法(四診)を説明することができる。 ・東洋医学的な治療法の概要を述べることができる。 		
授業計画	前期		
	1.オリエンテーション	1	
	2.東洋医学の基礎(東洋医学の意義、陰陽論、五行論)	6	
	3.気血津液の概要	7	
	4.六臓六腑(臓腑の概要と生理機能)	9	
	5.病因論(内因・外因・不内外因、三毒説)	7	
	前期計	30	
後期	6.病証論(八綱・気血津液・臓腑・経脈病証)	20	
	7.東洋医学的診察法と証の立て方(四診、八綱・気血津液・臓腑弁証)	9	
	8.治療法(手技療法、鍼灸療法、湯液)	1	
		後期計	30
		年度末計	60
実務経験の有無 その活かし方	有	はり師・きゅう師 病院や鍼灸施術所での勤務経験を活かし、実践を踏まえて教授します。	
成績評価の方法	前期末と後期末に筆記試験を実施し、その平均点を学年末評価とします。学年末評価60点以上が単位修得の条件です。試験の出題形式は択一式・選択式・記述式とします。		
履修上の留意点	各学期の中間期など必要に応じて形成的評価を行います(学年末評価には影響しません)。経絡経穴概論 I の内容も学習範囲に含まれます。		
予習・復習の 進め方	予習は、教科書を事前に一度読むことをお勧めします。内容の意味がわからなくてもかまいませんので、まずは声に出して読んでみてください。読めない漢字は飛ばしてください。復習は、もう一度教科書を読んでください。その時は、ある程度内容が理解できていることを確認してください。		
使用教科書	矢野忠著「基礎保健理療 I (東洋医学一般)」日本ライトハウス刊		
参考書/参考資料	東洋療法学校協会編「東洋医学概論」、日中共同編集「針灸学(基礎編)」		

令和3年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	1年A組(B班)	
科目名	経絡経穴概論 I	
単位数	3単位	
授業方法と時間数	講義・実技 90時間	
担当教官名	池田正道	
授業の内容 (授業科目の概要)	経絡経穴の基礎、正経十二経と督脈・任脈に付属する経穴の名称と部位について学びます。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経絡と経穴の概念について説明できる。 2. 奇経八脈のうち督脈・任脈を理解し説明できる。 3. 陰陽、臓腑、経絡の関係を理解し説明できる。 4. 十二経脈の名称と走行、流注を理解し説明できる。 5. 各経穴がどの経脈に属するか理解し説明できる。 6. 骨度法、同身寸法の概念を理解しそれを用いて人体に取穴することができる。 7. 要穴のなかで、原穴、絡穴、募穴、翕穴(背部翕穴)について理解し、取穴することができる。 	
授業計画	<p>前期内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 経絡経穴の基礎 <ol style="list-style-type: none"> (1) 経絡・経穴の誕生 (2) 臓腑の概要 (3) 経絡の概要 (4) 経穴の概要 3. 経脈・経穴 <ol style="list-style-type: none"> (1) 経穴の取り方に必要な用語 (2) 十四経脈とその経穴 <ol style="list-style-type: none"> ① 督脈 ② 任脈 ③ 手太陰肺経 ④ 手陽明大腸経 ⑤ 足陽明胃経 ⑥ 足太陰脾経 <p>前期計</p> <p>後期内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 経脈・経穴(続き) <ol style="list-style-type: none"> ⑦ 手少陰心経 ⑧ 手太陽小腸経 ⑨ 足太陽膀胱経 ⑩ 足少陰腎経 ⑪ 手厥陰心包経 ⑫ 手少陽三焦経 ⑬ 足少陽胆経 ⑭ 足厥陰肝経 4. 経絡・経穴の現代的な研究 <ol style="list-style-type: none"> (1) 経絡現象 (2) 経穴の概念と現代科学的研究 <p>後期計</p> <p>年度末計</p>	<p>1</p> <p>8</p> <p>36</p> <p>45</p> <p>42</p> <p>3</p> <p>45</p> <p>90</p>
実務経験の有無 その活かし方	有	あん摩マッサージ指圧師 整形外科病院の施術経験をいかして、経絡経穴の学習に興味をもてるよう、臨床上使用頻度が高い経穴については、適応や禁忌等についても紹介します。
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	6、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
予習・復習の進め方	毎日少しの時間を利用して経穴名をしっかりと暗記するよう努めてください。次にその経穴がどこの部位にあるのかを自分の体または他の人の体を借りて取穴できるよう練習してください。	
使用教科書	新版 経絡経穴概論 拡大版 第2版【医道の日本社】	
参考書/参考資料	なし	

令和3年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	1年A組(A班)	
科目名	あん摩マッサージ指圧基礎 I	
単位数	4単位	
授業方法と時間数	実技 120時間	
担当教官名	青柳達也	
授業の内容 (授業科目の概要)	あん摩の沿革 施術者としての注意事項 基本手技 全身あん摩(座位・側臥位・腹臥位)などについて学習します。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施術者としての注意事項(身だしなみ・真摯な態度・言葉遣い・揉み返しや骨折の回避・衛生管理など)について、説明・記述できる。 2. 施術部位の術式について説明・記述できる。 3. 施術部位の揉捏法などの漸増漸減圧や骨及び筋の触診が的確に行える。 4. 全身あん摩を適切な時間内に行える。 	
	(前期)	
	1. オリエンテーション 施術者としての注意事項 あん摩の沿革	2
	2. 施術部位の名称 基本手技	8
	3. 座位のあん摩	44
	4. 輪状母指揉捏法	6
	前期計	60
	(後期)	
	5. 側臥位のあん摩	26
	6. 腹臥位の仕上げ	26
	7. 座位の仕上げ	8
後期計	60	
年度末計	120	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理療教育実施細則に基づき、前期期末・後期期末の平均点を学年末評価(小数点第1位は切り下げ)とし、60点以上で単位修得となる。 2. 学年末評価が60点未満の場合、単位修得できず原級留置となる。 	
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期中間試験・後期中間試験は行わない。 2. リスク管理・衛生管理に十分配慮する。特に母指圧の力度は被術者に合わせる。 3. 骨・関節・筋などは解剖学と関連するので、十分学習する。 	
予習・復習の 進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日ごろから母指の鍛錬を行う。 2. 予習は事前に施術部位の術式を暗記しておく。 3. 復習は各自、授業で習った部位の施術練習を行う。 	
使用教科書	「理療基礎実習」日本ライトハウス 刊	
参考書/参考資料	あん摩基礎実習マニュアル	

令和3年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	1年A組(B班)	
科目名	あん摩マッサージ指圧基礎実習 I	
単位数	4単位	
授業方法と時間数	実技 120時間	
担当教官名	絹見昭洋	
授業の内容 (授業科目の概要)	あん摩の沿革 施術者としての注意事項 基本手技 全身あん摩(座位・側臥位・腹臥位)などについて学習します。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施術者としての注意事項(身だしなみ・真摯な態度・言葉遣い・揉み返しや骨折の回避・衛生管理など)について、説明・記述できる。 2. 施術部位の術式について説明・記述できる。 3. 施術部位の揉捏法などの漸増漸減圧や骨及び筋の触診が的確に行える。 4. 全身あん摩を適切な時間内に行える。 	
	(前期)	
	1. オリエンテーション 施術者としての注意事項 あん摩の沿革	2
	2. 施術部位の名称 基本手技	8
	3. 座位のあん摩	44
	4. 輪状母指揉捏法	6
	前期計	60
	(後期)	
	5. 側臥位のあん摩	26
	6. 腹臥位の仕上げ	26
7. 座位の仕上げ	8	
後期計	60	
年度末計	120	
実務経験の有無 その活かし方	有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 臨床での経験を基に自身への負担の少ない姿勢や体重移動などの方法を指導します。	
成績評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理療教育実施細則に基づき、前期期末・後期期末の平均点を学年末評価(小数点第1位は切り下げ)とし、60点以上で単位修得となる。 2. 学年末評価が60点未満の場合、単位修得できず原級留置となる。 	
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期中間試験・後期中間試験は行わない。 2. リスク管理・衛生管理に十分配慮する。特に母指圧の力度は被術者に合わせる。 3. 骨・関節・筋などは解剖学と関連するので、十分学習する。 	
予習・復習の 進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日ごろから拇指の鍛錬を行ってください。 2. 予習は事前に施術部位の術式を暗記してください。 2. 復習は各自、授業で習った部位の施術練習を行ってください。 	
使用教科書		
参考書/参考資料	あん摩基礎実習マニュアル	

令和3年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	1年A組(A班)	
科目名	あん摩マッサージ指圧基礎実習Ⅱ	
単位数	2単位	
授業方法と時間数	実技 60時間	
担当教官名	皆川 剛	
授業の内容 (授業科目の概要)	術式は教科書を基本として、医療マッサージの基礎的な技術と能力の根底を養います。 保健医療を始め各種適応疾患に対応できるようになるためのマッサージの基礎を上級学年に繋がるように指導します。	
到達目標	1. 手技治療法としてのマッサージの歴史や意義を理解することができる。 2. マッサージの基本手技と術式を理解し、習得・習熟することができる。 3. 身体の使い方(重心移動)を習得することができる。 4. 身体各部位の手技・術式の基礎を習得することができる。	
授業計画	前期内容 1. マッサージ施術への導入(総論) マッサージの概要 スケジュールと目的と評価について(1)意義と沿革、(2)施術者としての心構え、(3)施術室の清潔、(4)手指の消毒と服装、(5)施術用具の管理、(6)作用機序の概要、(7)施術方法(あんまとの相違点・施術上の注意事項) 指導上の留意点、備考…治療としての手技療法を理解する。	4
	2. マッサージの基本手技 (1)軽擦法、(2)圧迫法、(3)揉捏法、(4)叩打法 マッサージの基本手技について紹介・体験し、その概要を学習する。 指導上の留意点、備考…各種手技に応じた手の使い方を理解する。	12
	3. 身体各部のマッサージ (1)前腕 指導内容…前腕部の基本術式を学習し、マッサージの各種手技に習熟する。 指導上の留意点、備考…手の使い方や動かし方を具体的に指導する。 (2)下腿 指導内容…下腿部の基本術式を学習し、マッサージの各種手技に習熟する。 指導上の留意点、備考…術者の体や手の位置について指導する。 復習と評価	8 4
	前期計	28
	後期内容 4. マッサージの基本手技 (1)按捏法(強擦法) 指導内容…マッサージの基本手技について紹介し、その概要を学習する。 指導上の留意点、備考…各種手技に応じた手の使い方を理解する。	2
5. 各関節のマッサージの施術 (1)手関節 指導内容、備考…手関節の軟部組織(筋・腱・靭帯など)に対するマッサージ施術及び手関節の可動域保持に関わる運動操作等について学習する。 指導上の留意点、備考…初めて行う按捏法の意義を理解させ、正しく手を用いるよう指導する。	8	

	<p>(2)足関節 指導内容…足関節の軟部組織(筋・腱・靭帯など)に対するマッサージ施術及び足関節の可動域保持に関わる運動操作等について学習する。 指導上の留意点、備考…捻挫を起こしやすい場所でもあるので、関節の構造をよく理解して施術するよう指導する。</p> <p>(3)肩関節 指導内容…肩関節の軟部組織(筋・腱・靭帯など)に対するマッサージ施術及び肩関節の可動域保持に関わる運動操作等について学習する。 指導上の留意点、備考…術者の体や手の位置を工夫して施術するよう指導する。</p> <p>(4)膝関節 指導内容…膝関節の軟部組織(筋・腱・靭帯など)に対するマッサージ施術及び膝関節の可動域保持に関わる運動操作等について学習する。 指導上の留意点、備考…種々な膝関節障害を想定して指導する。</p> <p>6.顔面のマッサージの施術 指導内容…顔面の軟部組織(筋・腱・靭帯など)に対するマッサージ施術について学習する。 指導上の留意点、備考…術者の手の位置や移動については十分配慮するよう指導する。</p> <p>復習と評価</p>	8 4 4 6
	後期計	32
	年度末計	60
実務経験の有無 その活かし方	有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師 20年以上の臨床経験を活かして、実践的かつわかりやすい指導をおこないます。	
成績評価の方法	理療教育実施細則の基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て) 評価は、前後一斉期末試験の週までに実技試験を実施します。	
履修上の留意点	6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
予習・復習の 進め方	予習よりも復習が中心となります。既習の内容について、関連科目の内容も含めて振り返り、特に実技は繰り返し行うことです。	
使用教科書	1. 理療基礎実習 2. あん摩マッサージ指圧理論(保健理療理論)	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

令和3年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	1年A組(B班)	
科目名	あん摩マッサージ指圧基礎実習Ⅱ	
単位数	2単位	
授業方法と時間数	実技 60時間	
担当教官名	皆川 剛	
授業の内容 (授業科目の概要)	術式は教科書を基本として、医療マッサージの基礎的な技術と能力の根底を養います。 保健医療を始め各種適応疾患に対応できるようになるためのマッサージの基礎を上級学年に繋がるように指導します。	
到達目標	1. 手技治療法としてのマッサージの歴史や意義を理解することができる。 2. マッサージの基本手技と術式を理解し、習得・習熟することができる。 3. 身体の使い方(重心移動)を習得することができる。 4. 身体各部位の手技・術式の基礎を習得することができる。	
授業計画	前期内容 1. マッサージ施術への導入(総論) マッサージの概要 指導内容…スケジュールと目的と評価について(1)意義と沿革、(2)施術者としての心構え、(3)施術室の清潔、(4)手指の消毒と服装、(5)施術用具の管理、(6)作用機序の概要、(7)施術方法(あんまとの相違点・施術上の注意事項) 指導上の留意点、備考…治療としての手技療法を理解する。	4
	2. マッサージの基本手技 (1)軽擦法、(2)圧迫法、(3)揉捏法、(4)叩打法 指導内容…マッサージの基本手技について紹介・体験し、その概要を学習する。 指導上の留意点、備考…各種手技に応じた手の使い方を理解する。	12
	3. 身体各部のマッサージ (1)前腕 指導内容…前腕部の基本術式を学習し、マッサージの各種手技に習熟する。 指導上の留意点、備考…手の使い方や動かし方を具体的に指導する。	8
	(2)下腿 指導内容…下腿部の基本術式を学習し、マッサージの各種手技に習熟する。 指導上の留意点、備考…術者の体や手の位置について指導する。 復習と評価	4
	前期計	28
後期内容		
4. マッサージの基本手技 (1)按捏法(強擦法) 指導内容…マッサージの基本手技について紹介し、その概要を学習する。 指導上の留意点、備考…各種手技に応じた手の使い方を理解する。	2	
5. 各関節のマッサージの施術 (1)手関節 指導内容、備考…手関節の軟部組織(筋・腱・靭帯など)に対するマッサージ施術及び手関節の可動域保持に関わる運動操作等について学習	8	

	<p>(2)足関節 指導内容…足関節の軟部組織(筋・腱・靭帯など)に対するマッサージ施術及び足関節の可動域保持に関わる運動操作等について学習する。 指導上の留意点、備考…捻挫を起こしやすい場所でもあるので、関節の構造をよく理解して施術するよう指導する。</p> <p>(3)肩関節 指導内容…肩関節の軟部組織(筋・腱・靭帯など)に対するマッサージ施術及び肩関節の可動域保持に関わる運動操作等について学習する。 指導上の留意点、備考…術者の体や手の位置を工夫して施術するよう指導する。</p> <p>(4)膝関節 指導内容…膝関節の軟部組織(筋・腱・靭帯など)に対するマッサージ施術及び膝関節の可動域保持に関わる運動操作等について学習する。 指導上の留意点、備考…種々な膝関節障害を想定して指導する。</p> <p>6. 顔面のマッサージの施術 指導内容…顔面の軟部組織(筋・腱・靭帯など)に対するマッサージ施術について学習する。 指導上の留意点、備考…術者の手の位置や移動については十分配慮するよう指導する。</p> <p>復習と評価</p>	8 4 4 6
	後期計	32
	年度末計	60
実務経験の有無 その活かし方	有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師 20年以上の臨床経験を活かして、実践的かつわかりやすい指導をおこないます。	
成績評価の方法	理療教育実施細則のに基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て) 評価は、前後一斉期末試験の週までに実技試験を実施します。	
履修上の留意点	6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
予習・復習の 進め方	予習よりも復習が中心となります。既習の内容について、関連科目の内容も含めて振り返り、特に実技は繰り返し行うことです。	
使用教科書	(1)理療基礎実習 (2)あん摩マッサージ指圧理論(保健理療理論)	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

令和3年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程		
学年	1年A組(A班)		
科目名	あん摩マッサージ指圧基礎実技Ⅲ		
単位数	2単位		
授業方法と時間数	実技 60時間		
担当教官名	岩本 稔		
授業の内容 (授業科目の概要)	施術者として必要な知識と技能を学びます。また指圧の基本手技を習得します。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施術者としての態度・心構えを身につける。 2. 指圧の基本手技・体重移動を習得する。 3. 施術を行う上でのリスク管理、患者への配慮を身につける。 		
授業計画	前期内容		
	1. 導入(指圧の意義、沿革、身体各部の名称など)	2	
	2. 基本手技の紹介(通常圧、持続圧、衝圧、緩圧、吸引圧、母指圧、四指圧、手掌圧など腰部仙骨部で行う)	2	
	3. 施術を行う上でのリスク管理について(胸当ての未使用や衝圧による骨折の危険性、ベッドの昇降時の声掛けによる転落防止等)	1	
	4. 全身指圧操作の基本術式(1手技2回で行う。)	21	
	第1節 腹臥位の施術を行う。		
5. 前期中間試験	4		
	前期計	30	
後期内容	6. 前期の続き(全身指圧操作の基本術式(1手技2回で行う。)	22	
	第1節 腹臥位の施術から第4節仰臥位の施術まで行う。ただし矯正法はおこなわない。)		
	7. 全身指圧操作の基本術式(1手技2回で行う。時間は80分～90分。)	6	
	8. 後期中間試験	2	
		後期計	30
		年度末計	60
実務経験の有無 その活かし方	有		
	病院・接骨院での経験を活かし患者さんに合わせたリスク管理のもと安全かつ効果的な指導を行います。		
成績評価の方法	平常授業時は観察記録法により平常評価します。各学期末には実技試験を行い、平常評価と合わせて総括的評価とします。なお、理療教育実施細則に基づき、前期・後期末評価の平均点を本科目の学年末評価とします。また、各学期の中間期に中間試験を行い形成的評価とします。		
履修上の留意点	自身の健康管理に留意するとともに、身体や白衣を清潔に保ちましょう。施術中はクラスメートを患者と想定した態度・言動で臨みましょう。各学期の中間期の実技試験は、形成的評価とし、8時間行います。予定授業時間数は、前期30時間、後期32時間の計時間です。授業計画は法定授業時間数を基準とし、適宜、進捗状況により各項目の授業時間数を増減します。		
予習・復習の 進め方	予習は、教科書をよく読んでおいてください。復習は、事故や防災等に留意し、原則として実習室で行ってください。なお、授業時間以外の事故については自己責任になります。※「理療教育における施設や設備の利用等マニュアル(利用者向け)」第8章 授業時間以外に実技練習を行うときの注意事項参照		
使用教科書	東京都立文京盲学校理療科研究会著 理療基礎実習		
参考書/参考資料	資料は必要に応じて配布します。		

令和3年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	1年A組(B班)	
科目名	あん摩マッサージ指圧師基礎実習Ⅲ	
単位数	2単位	
授業方法と時間数	実技 60時間	
担当教官名	岩本 稔	
授業の内容 (授業科目の概要)	施術者として必要な知識と技能を学びます。また指圧の基本手技を習得します。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施術者としての態度・心構えを身につける。 2. 指圧の基本手技・体重移動を習得する。 3. 施術を行う上でのリスク管理、患者への配慮を身につける。 	
授業計画	前期内容	
	1. 導入(指圧の意義、沿革、身体各部の名称など)	2
	2. 基本手技の紹介(通常圧、持続圧、衝圧、緩圧、吸引圧、母指圧、四指圧、手掌圧など腰部仙骨部で行う)	2
	3. 施術を行う上でのリスク管理について(胸当ての未使用や衝圧による骨折の危険性、ベッドの昇降時の声掛けによる転落防止等)	1
	4. 全身指圧操作の基本術式(1手技2回で行う。)	21
第1節 腹臥位の施術を行う。		
5. 前期中間試験	4	
	前期計	30
後期内容	6. 前期の続き(全身指圧操作の基本術式(1手技2回で行う。)	22
	第1節 腹臥位の施術から第4節仰臥位の施術まで行う。ただし矯正法はおこなわない。)	
	7. 全身指圧操作の基本術式(1手技2回で行う。時間は80分～90分。)	6
	8. 後期中間試験	2
	後期計	30
	年度末計	60
実務経験の有無 その活かし方	有	
	病院・接骨院での経験を活かし患者さんに合わせたリスク管理のもと安全かつ効果的な指導を行います。	
成績評価の方法	平常授業時は観察記録法により平常評価します。各学期末には実技試験を行い、平常評価と合わせて総括的評価とします。なお、理療教育実施細則に基づき、前期・後期末評価の平均点を本科目の学年末評価とします。また、各学期の中間期に中間試験を行い形成的評価とします。	
履修上の留意点	自身の健康管理に留意するとともに、身体や白衣を清潔に保ちましょう。施術中はクラスメートを患者と想定した態度・言動で臨みましょう。各学期の中間期の実技試験は、形成的評価とし、8時間行います。予定授業時間数は、前期30時間、後期38時間の計時間です。授業計画は法定授業時間数を基準とし、適宜、進捗状況により各項目の授業時間数を増減します。	
予習・復習の 進め方	予習は、教科書をよく読んでおいてください。復習は、事故や防災等に留意し、原則として実習室で行ってください。なお、授業時間以外の事故については自己責任になります。※「理療教育における施設や設備の利用等マニュアル(利用者向け)」第8章 授業時間以外に実技練習を行うときの注意事項参照	
使用教科書	東京都立文京盲学校理療科研究会著 理療基礎実習	
参考書/参考資料	資料は必要に応じて配布します。	

令和3年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	1年A組 (B班)	
科目名	はりきゅう基礎実習 I	
単位数	3単位	
授業方法と時間数	実技 90時間	
担当教官名	松本 元司	
授業の内容 (授業科目の概要)	はり施術に関する基礎的な知識と技術について学びます。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施術におけるリスクについて説明し、安全に施術することができる。 2. 刺鍼法(管鍼法)について説明・実践することができる。 3. 身体各部の主な経穴を取穴して刺鍼することができる。 4. 現行17刺鍼術について説明し、実施することができる。 	
授業計画	前期内容	
	1. 施術への導入	2
	2. 施鍼の基礎	8
	3. 基本手技	15
	片手挿管を習得させ、立位で刺鍼以外の動作を連続して行えるようにする。	
	4. 身体各部への刺鍼(寸3・3番鍼、寸3・2番鍼)	10
(1)自身の下腿、(2)下腿部、(3)前腕部		
5. 主な経穴への刺鍼	10	
	前期計	45
後期内容	1. 施術への導入	2
	2. 施鍼の基礎	8
	3. 基本手技	15
	片手挿管を習得させ、立位で刺鍼以外の動作を連続して行えるようにする。	
	4. 身体各部への刺鍼(寸3・2番鍼、1寸・1番鍼)	10
	(1)前腕部、(2)腰部、(3)背部、(4)肩関節部、(5)頸部、 (6)頭部、(7)胸腹部、(8)顔面部、(9)膝関節周辺	
5. 主な経穴への刺鍼	10	
	後期計	45
	年度末計	90
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期・後期期末試験の平均点を学年末評価とします。また、随時評価を実施し知識・技術を確認して必要により学習支援を行います。	
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 清潔な環境の維持 2. 体調管理 3. インシデントの予防と注意 	
予習・復習の 進め方	毎回の授業で基本手技を繰り返し練習し技術の向上を確認していきます。生体を使用した刺鍼練習は医療事故防止のため授業内のみとして自己練習は、必ず刺鍼練習器を使用するように指導を行います。	
使用教科書	理療基礎実習(第2版) 盲学校理療教科用図書 日本ライトハウス	
参考書/参考資料	鍼灸基礎実習ノート 森英俊 医歯薬出版	

令和3年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	1年A組(A班)	
科目名	はりきゅう基礎実習Ⅱ	
単位数	2単位	
授業方法と時間数	実技 60時間	
担当教官名	松本元司	
授業の内容 (授業科目の概要)	きゅう施術に関する基礎的な知識と技術について学びます。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施術におけるリスクについて説明し、安全に施術することができる。 2. 透熱灸(艾炷の作成)と知熱灸について説明・作成することができる。 3. 身体各部の主な経穴を取穴して施灸することができる。 4. 各種温灸法について説明し、実施することができる。 	
授業計画	前期内容	
	1. オリエンテーション	1
	2. 施術への導入(リスク管理)	2
	3. 施灸の基礎	1
	4. 基本的施灸法	
	(1) 透熱灸法	10
(2) 知熱灸法	10	
(3) 隔物灸法	6	
前期計		30
後期内容	(4) 温灸器具を用いた灸法	8
	(5) 身体各部への施灸	10
	(6) 主な経穴への施灸	10
	(7) 施灸による全身調整法	2
	後期計	30
年度末計		60
実務経験と その活かし方	無	
成績評価の方法	前期末と後期末に実技試験を実施し、その平均点を学年末評価とします。各学期の中間期に、平常授業時での観察法により形成評価を行います。	
履修上の留意点	自身の体調管理に留意するとともに、身体や白衣を常に清潔に保つ心がけること 授業計画は法定授業時間数を基準に適宜、進捗状況により時間数を増減します。	
予習・復習の 進め方	予習は、適宜教科書を読んでください。復習は、事故や防災等に留意し、原則として実習室で行い、実習室以外では点火器具を使用しないこと。なお、授業時間以外の事故については自己責任になります。 ※「理療教育における施設や設備の利用等マニュアル(利用者向け)」第8章 授業時間以外に実技練習を行うときの注意事項参照	
使用教科書	理療基礎実習(第2版) 盲学校理療教科用図書 日本ライトハウス	
参考書/参考資料	鍼灸基礎実習ノート 森英俊 医歯薬出版	

令和3年度 授業計画書(シラバス)

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	1年A組(B班)	
科目名	はりきゅう基礎実習Ⅱ	
単位数	2単位	
授業方法と時間数	実技 60時間	
担当教官名	天野光二	
授業の内容 (授業科目の概要)	きゅう施術に関する基礎的な知識と技術について学びます。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施術におけるリスクについて説明し、安全に施術することができる。 2. 透熱灸(艾炷の作成)と知熱灸について説明・作成することができる。 3. 身体各部の主な経穴を取穴して施灸することができる。 4. 各種温灸法について説明し、実施することができる。 	
授業計画	前期内容	
	1. オリエンテーション	1
	2. 施術への導入(リスク管理)	2
	3. 施灸の基礎	1
	4. 基本的施灸法	
	(1)透熱灸法	10
(2)知熱灸法	10	
(3)隔物灸法	6	
前期計		30
後期内容		
(4)温灸器具を用いた灸法	8	
(5)身体各部への施灸	10	
(6)主な経穴への施灸	10	
(7)施灸による全身調整法	2	
後期計		30
年度末計		60
実務経験と その活かし方	有	はり師・きゅう師
	医療現場(病院・施術所)でのはりきゅう師として臨床経験を活かして、実際に臨床の場で役に立つようにわかりやすく実技指導します。	
成績評価の方法	前期末と後期末に実技試験を実施し、その平均点を学年末評価とします。各学期の中間期に、平常授業時での観察法により形成評価を行います。	
履修上の留意点	自身の健康管理に留意するとともに、身体や白衣を清潔に保ちましょう。火傷等の過誤を起こさないように、集中して慎重に練習しましょう。予定授業時間数は、前期33時間、後期36時間の計69時間です。授業計画は法定授業時間数を基準とし、適宜、進捗状況により各項目の授業時間数を増減します。	
予習・復習の 進め方	予習は、適宜教科書を読んでください。復習は、事故や防災等に留意し、原則として実習室で行い、実習室以外では点火器具を使用しないこと。なお、授業時間以外の事故については自己責任になります。※「理療教育における施設や設備の利用等マニュアル(利用者向け)」第8章 授業時間以外に実技練習を行うときの注意事項参照	
使用教科書	東京都立文京盲学校理療科研究会著 理療基礎実習	
参考書/参考資料	資料は必要に応じて配布します。	